



はやま気候非常事態宣言



Plastics
Smart

現在、世界各地で台風やハリケーン、大雨、干ばつ、熱波などの異常気象による災害が頻繁に発生しています。近年、日本でも大型台風や集中豪雨などによって各地に甚大な被害がもたらされており、本町においても大型台風によって停電や断水、土砂の崩落など、大きな被害に見舞われました。これらの異常気象は、温室効果ガスの増加に伴う長期的な地球温暖化の傾向と関係しているとされています。

2020年以降の温室効果ガス排出削減等のための国際的な枠組みである「パリ協定」は、歴史上はじめて全ての国が合意しており、世界規模で地球温暖化に対し取り組んでいくことが求められています。

国は2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとし、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しており、本町もその宣言に賛同し取り組みます。

本町は、青い海と緑豊かな丘陵に囲まれた首都圏の温暖な地として親しまれ、御用邸の町あるいは保養地として広く知られ発展してきました。そうした背景から、これまで本町の美しい海辺や、自然豊かな山並みを未来へ継承するための取り組みを進めてきましたが、地球温暖化に起因する気候変動が本町にとっても著しい脅威となっていることをあらためて認識し、脱炭素社会の実現に向けて積極的に行動します。そして「パリ協定」に掲げられた目標を達成するため、ここに気候非常事態を宣言します。

- 1 町民や事業者へ再生可能エネルギーの利用や省エネルギーの推進について周知・啓発をします。
- 2 2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目指します。
- 3 ゼロ・ウェイスト社会の実現を目指し、4Rの徹底を図るなど、様々なごみの減量・資源化策を推進します。
- 4 プラごみゼロを目指す「はやまクリーンプログラム」の取り組みを推進します。
- 5 海や里山などを守り、本町の豊かな自然環境を未来へ継承します。

令和3年3月18日

葉山町長

山梨 崇仁



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

葉山町は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。